

令和4年度 「東三河 ESD・ユネスコスクールフォーラム」

「東三河 ESD・ユネスコスクールフォーラム」が2年ぶりに開催され、12月3日（土）に愛知大学において、4校が実践を発表しました。環境、防災、伝統文化の継承など、地域や生活に根ざしたテーマで学びを進め、地域課題の解決やSDGs達成にむけての取り組みを伝えました。



南陵中学校

南陵中学校は、ボランティア団体「梅田川フォーラム」の事業を引き継ぎ、全校をあげて梅田川の美化活動に取り組んでいます。川の水質を上流から下流まで調査し、客観的なデータをもとに現状を捉えました。発表から、川の環境改善への意欲を感じました。



豊城中学校

伝統文化の担い手として、地域の方から学んだことや体験したことを通して、地域の伝統をつないでいくことに意義を見出している生徒の姿が印象的でした。地域の特色を、学校の教育活動に位置づけ、地域と連携した学びを展開していました。



松葉小学校

松葉小学校区にとって重要な課題「防災」をテーマに学習を進めた4年生。大規模災害が起こったときの豊橋市や校区の被害予測を調べ、必要なことは何かを考えていました。また、身近な物で作った防災グッズを提示しながら発表し、学んだことをわかりやすく伝えました。



新川小学校

生活に大きく関わるごみの問題に着目し、地域の清掃指導員から話を聞くとともに、家庭のごみや豊橋市のごみ処分の現状等を調べるなどして、その削減にむけて行動していました。会場の聴衆に自分たちが作成したちらしを配り、啓発活動も行いました。